

1 生活単元

特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編（上）（高等部）より抜粋

3 指導の形態について

(3) 各教科等を合わせて指導を行う場合

日常生活の指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきており、それらは「各教科等を合わせた指導」と呼ばれている。

【各教科等を合わせた指導の特徴と留意点】

イ 生活単元学習

生活単元学習は、生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。生活単元学習では、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。

生活単元学習の指導では、生徒の学習活動は、実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織されることが大切である。

生活単元学習の指導計画の作成に当たっては、以下のような点を考慮することが重要である。

- (イ) 単元は、必要な知識や技能の習得とともに、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等の育成を図るものであり、生活上の望ましい態度や習慣が形成され、身に付けた指導内容が現在や将来の生活に生かされるようにすること。
- (オ) 単元は、各単元における生徒の指導目標を達成するための課題の解決に必要なかつ十分な活動で組織され、その一連の単元の活動は、生徒の自然な生活としてのまとまりのあるものであること。

2 単元の目標

- ・屋外炊事での調理の仕方を知り、カレー作りに取り組むことができる。
- ・間伐材の加工方法や木材と生活の関連を知り、薪作りに取り組むことができる。
- ・屋外炊事をグループで協力して、安全に気を付けて調理することができる。
- ・林業体験・屋外炊事を通して、人とかかわりの中で伝え合う力を高めることができる。



生活に役立てるために、林業体験から屋外炊事への一連の加工・調理する体験や仲間と協力する体験をし、積極的に課題を見出し、主体的・実践的な態度を身につけることができる

育成する資質・能力	目標	評価規準
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・他者と協力し、作業に取り組むことの大切さを理解できるようにする。・薪作りや屋外炊事の仕方を知り、生活に活用できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・協力しながら作業することの意味を理解できる。・薪作りについて知り、食材の調理の仕方に必要な知識及び技能を身に付けることができる。

思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題解決とその過程を振り返り、課題を発見し、課題を解決する。 ・利用に合わせた薪作りをしたり、調理をしたりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の様子について評価し、改善及び修正について考えることができる。 ・薪作りや調理の順序を考え、活動をできるようにすることができる。
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・薪作りから屋外炊事の一連の体験活動を通じて、生活に生かす技術を主体的に身に付けようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力しながら活動し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりすることができる。

3 単元構想

(1) 集団宿泊活動として学習することのよさ

森の様子や伐採された木の皮を剥がせる活動を体験し、自分たちで薪作り、その薪を使った調理を協力しながら行うという一連の流れを宿泊活動という時間的余裕がある中で行うことにより、実生活に役立つような実感を伴った体験とすることができる。体験を通して、木材に関心を持ったり、生活に必要な調理をしたりすることで、社会参加に向けた実践的態度を育成することを目的としている。そこで、活動の進め方の理解するために、げんきプラザの出前授業を活用し、自信をもって当日を迎えられるようにする。

(2) 単元計画

学習過程	活動内容	時数	活動の場
【事前学習】 課題の把握、設定、動機づけ (6月28日 出前授業)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方を知り、見通しを持つ。 ・大滝げんきプラザでの活動を知る。 ・大滝げんきプラザにある木の特徴を知る。 ・木に触れる体験を通して、木材の関心を高めさせる。 	1	秩父特支別援学校
【体験活動】 課題の情報収集、追求、解決	<ul style="list-style-type: none"> ・木の皮を剥いだものを見学する。 ・薪割りを体験する。 ・カレー作り体験を通して、調理について理解をする。 ・カレー作りでの様子を振り返る。 <p>主体的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中に投げかけた課題について積極的に学習する。 <p>対話的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と対話しながら木材加工や調理を進める。 	4	県立大滝げんきプラザ
【事後学習】 整理、分析、まとめ、表現	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を通して学習したことをまとめる。 ・自分がうまくできなかったところに気が付く。 <p>深い学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薪作り・調理で培った仲間との協力について、生活で活かせる場面を考える。 	2	秩父特支別援学校

(3) 「主体的・対話的で深い学び」の視点

1) 主体的な学び

① 目指す子供の姿

- ・生徒が関心をもち、積極的に考える機会をもつ。
- ・体験活動を振り返り、自身で自分の頑張りや課題を知り、学校生活の中で活かしていく。

② 指導のポイント

- ・普段の生活で実践させることで、自分の課題を知り、実生活の中で改善していく。

2) 対話的な学び

① 目指す子供の姿

- ・薪づくりやカレー作りをする中で、仲間と相談しながら体験活動を進めさせる。
- ・実際に見て、触れて、感じる活動を展開させることで、仲間の多様な意見を知り、自分の考えを伝えられるようにする。
- ・活動後に自己評価を行い、また仲間からの評価も受ける中で、体験活動を振り返り、次の活動に活かせるようにする。

②指導のポイント

- ・学習課題を明確にすることで、五感を使って感じたことを個人やグループ全体で共有する時間を設けるようにする。

3) 深い学び

①目指す子供の姿

- ・体験活動で得た知識を仲間と相互に関連付けさせることで、実生活で実践していこうとする姿を目指す。
- ・関連する情報を提供し、自分の考えをもてるようにする。

②指導のポイント

- ・大滝げんきプラザでの集団宿泊活動後に振り返る時間を設け、自分ができたことや仲間の良い面を活かせるよう言葉がけをする。

4. 青少年教育施設での展開【生活単元（時数4時間）】

(1) ねらい

生活に役立てるために、林業体験から屋外炊事への一連の加工・調理する体験や仲間と協力する体験をして、課題を解決するための主体的・実践的な態度を身につけることができる。

(2) 展開

活動	具体的な活動内容	指導上の留意点	時間
学習課題をつかむ	○学校での出前授業から、大滝げんきプラザでの学習の見通しを持つ	○既習事項の課題について振り返り、所内での学習のポイントを明確にしておく。	2時間
薪づくり体験をする	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">薪はどのように加工するのだろうか。</div> ○道具の使い方の説明を聞く。 ○丸太の輪切りを行う。 ○丸太の断面や反った板材を観察する。 ○薪割り体験をする。 ○感想を発表させる。	○作業工程と道具の安全な使用について指導する。 ○出前授業の説明と工程で異なる点や注意すべき点を抑えながら活動させる。 ◎感想を発表し、活動のよさに気づき、意見を共有できる場を設定する。	
カレー作り体験をする	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">加工した薪を使って屋外炊事場を体験しよう。</div> ○火をおこし、食材の加工をしてカレー作りをする。 ○薪作り・カレー作り・仲間との協力で気付いた点等を中心に振り返る。	○火や刃物の取り扱いについて、安全に気を付けて活動できるように指導する。 ○火傷などや周囲の安全に配慮して活動させる。	2時間
まとめをする	○大滝げんきプラザでの学習を振り返る。	○良かったことを中心に取り上げることを確認する。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・カレー作りでの評価を仲間に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言語を用いて相手へ伝えられるように配慮する。 ○生徒が他者の評価や意見を聞く際、状況に応じて支援やまとめの手助けをする。 ○学んだことや気付いたことを実際に生かしていくことの大切さを考えさせる。 ○既習事項と所内で学習したことを関連付けさせ、まとめさせる。 	
--	--	--	--

3) 評価規準

- ・薪作りや調理に必要な技能を身に付けることができる。(知識及び技能)
- ・薪作りや屋外炊事の一連の体験活動を通して、生活に役立つための技能について考えることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・今後の生活に活かす技能を習得し、課題の解決に主体的に取り組むことができる。(学びに向かう力・人間性等)